

工事の困難なきこと既に此の如きも、之が落成後に於ける經濟、即ち收支相償ふや否やは沿道の物資、住民の多寡等、精細の調査を要するを以て、容易に斷言し難きも、新疆目下の景況にては、到底收支相償はざるべし。然れども既に記する如く、新疆は清國天然の寶庫にして鐵道の布設と共に自然開發に至るべきは明瞭なれば、敢て悲觀すべきにあらざるべし。殊に之を中央亞細亞鐵道(即ち「ザカスピ」スカヤ鐵道)に連絡せしむれば、歐洲各地よりの旅客及貨物は、物資豊に都會多き溫帶の地を経て、亞細亞大陸を横斷し、直に支那の各港に出ることを得べく、彼の西伯利鐵道が荒涼寂莫なる寒帶地方のみを通過して、嚴冬數月堅氷に鎖さるゝ浦潮港へ出るものと、同日の談に非ざれば、歐亞兩洲間の往復貨客は、西伯利線を経ずして、大部を此線に吸収し得べき見込あり、其の收支の如きは決して憂ふるに足らざるのみならず、將來大に有望なる線路なりと信ず。

要するに新疆の發展を圖り、其防備の完全を期するには、實に鐵道の敷設より急なるは無く、鐵道の敷設は、工事の難易問題に非ずして、其成否は唯、資金の有無に因りて決定すべし。清國たるもの、西門の鎖鑰を嚴にし、且つ之が發展を圖らんと欲